



たかずやの里通信

令和6年度 - 第4号 -

…発行日…
令和7年3月1日

…発行人…

児童養護施設 たかずやの里
伊那市東春近7000-8
TEL 0265-72-6456
FAX 0265-72-7607

ホームページ QRコード⇒
URL <https://www.takazuya.or.jp/>



本年度もたかずやの里をご支援いただきましてありがとうございました。

クリスマス会！

12月22日にクリスマス会がありました。毎年子どもたちが楽しみにしている会ですが、子どもたちや施設職員がこの日のために一生懸命練習してきた成果を発揮して、沢山の歌やダンスを披露してくれました。

発表の後はジェスチャーゲームを行いました。ユニット（施設の中で家ごとに分かれている少人数のグループ）対抗で接戦を繰り広げました。

それぞれのユニットが景品をゲットすることができて、大いに盛り上がりました。



「分園型小規模グループケア施設」

— 新たな2つのユニット —

今年の4月1日開所予定の小規模グループケア施設は、屋根・外回りがほぼ完成し、内部の壁やシステムキッチン・建具の取り付けなどを行っています。

家庭的な日常生活が営めるように、一般家庭とほぼ同じ作りになっています。一緒に料理をし、団らんの時を過ごしたり、

我が家と感じられるような施設を目指しています。



新ユニット！

♪ マーガレットユニット旅行 ♪

12月15日に、マーガレットユニット（女子ユニット）の子どもと職員で富士サファリパークに行ってきました。もっと早く行きたかったのですがコロナに感染していたこともあり、この日になってしまいました。動物たちと直接触れ合ったりジャングルバスで餌をあげたりと、とてもいい体験ができました！バスに乗って近くで見る動物たちはとても迫力があり、子どもたちも圧倒されていました。

ジャングルバス



～里親制度推進について～

平成28年の児童福祉法改正では、様々な事情により家庭での生活が困難な子どもたちに対し、施設養育よりも家庭に近い環境で育つことの重要性が示され、家庭的な養育環境を提供できる里親制度が推進されることになりました。その実現には、里親となっただけの方のご協力が不可欠です。国や県も、里親制度への理解と関心を深めるための啓発活動に力を入れています。

里親制度にご関心のある方は、ぜひ児童相談所またはたかずやの里までご連絡ください。



書初め

1月2日に書初めを行いました。子どもたちは、自分たちで考えた今年の抱負を思い思いに書いていました。「高校合格」「十年一剣」「不言実行」など、それぞれの目標を力強く書く姿はとてまかっこ良かったです。



今年も立派な書初め
が書けました！

みんなで餅つき体験！

書初めの後に、餅つきをしました。子どもたちが多く集まって、楽しく餅つき体験ができました。

「きねってこんなに重いんだ！」と驚いていた子どももいました。小さい子たちは、餅つきの迫力に圧倒されながらも、興味を持って応援していました。

ついたお餅は昼食用にちぎって分け、各ユニットへ持ち帰りました。つきたてのやわらかいお餅を、きなこや砂糖醤油などのいろいろな味で美味しくたくさん食べることができ、大満足だったようです。

よいしょ！



つきたてのお餅

新そばを味わう会

12月15日に、そば打ちの達人3人の方に新そばを打ちに来ていただきました。そばを打つ様子に子どもたちは興味津々。そばは苦手と言う子も「このそばなら食べられる…！」とたくさんおかわり！そば湯もいただき、味も香りもお腹も大満足の子もたちでした。

信州の誇る郷土食をいただくいい機会になりました。



退園生のことば

高校を卒業し就職する Yさん18歳



入所してから沢山辛いことも悲しいこともあったけど、いざ自分が退園する日が近づいてくると、少し寂しいような気がします。

退園してからも辛いことがたくさんあると思いますが、何とか乗り越えて頑張りたいです。

和気藹藹 (わきあいあい)

年末年始といえやおせち料理。たかずやの里でも、調理職員を中心に心を込めておせちを作りました。大晦日から正月三が日にかけて、帰省した子どもは十数人。施設で過ごす子どもたちと職員を合わせ、約40人分を準備しました。そんな中、就学前の子どもが職員と一緒に栗きんとん作りに挑戦する、微笑ましい場面もありました。小さな手で一生懸命さつまいもをつぶすその姿に、周囲の職員も思わず笑顔になりました。

また、新年といえ初詣。元日の朝、就学前の子どもたちが初詣に出かけた際、施設の通用門を出たところでウォーキング中の地元の女性と出会いました。子どもたちが「これから初詣に行くんだよ！」と話す、その女性も「私もお参りに行くところ」と声をかけ、一緒に参拝してくださいました。道中、3歳の女の子がその女性と手をつなぎ、「おばあちゃん！」と何度も呼びかけながら楽しくお話しし、一緒に神社へ向かいました。

こうした地域の皆さまとの心温まる交流は、子どもたちにとってかけがえのない経験となっています。

施設長 菅 雄峰

施設紹介動画をご覧ください。

<https://takazuyanotosato.wixsite.com/recruit/施設紹介動画>

QRコード ⇒

